

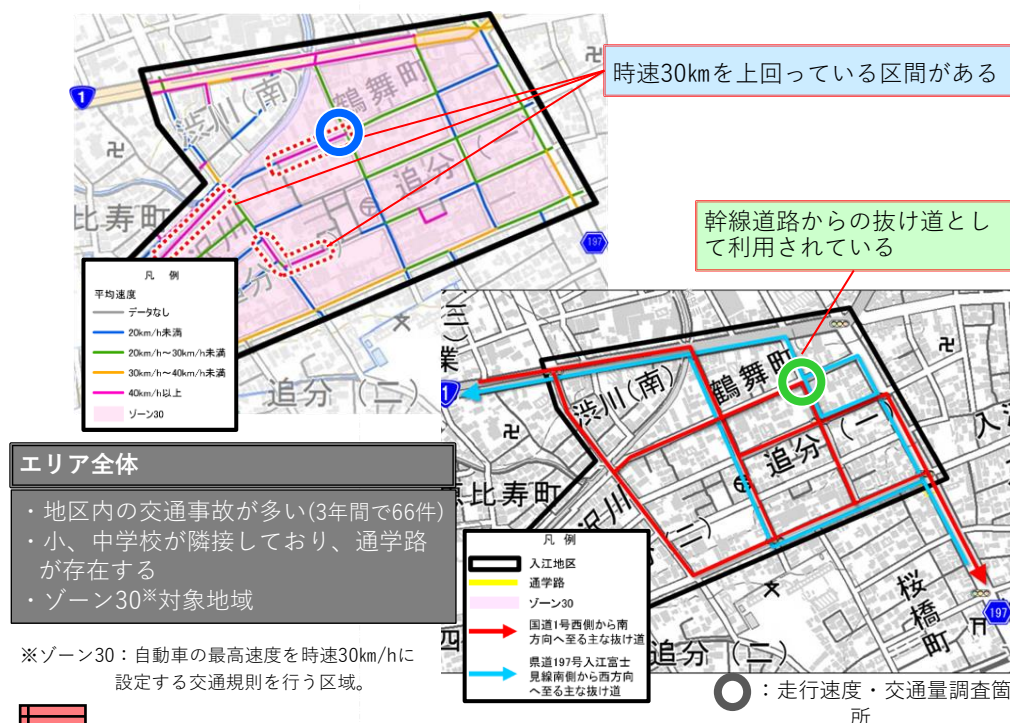


1 鶴舞町地区、入江東地区にて生活道路の交通安全対策が完了しました

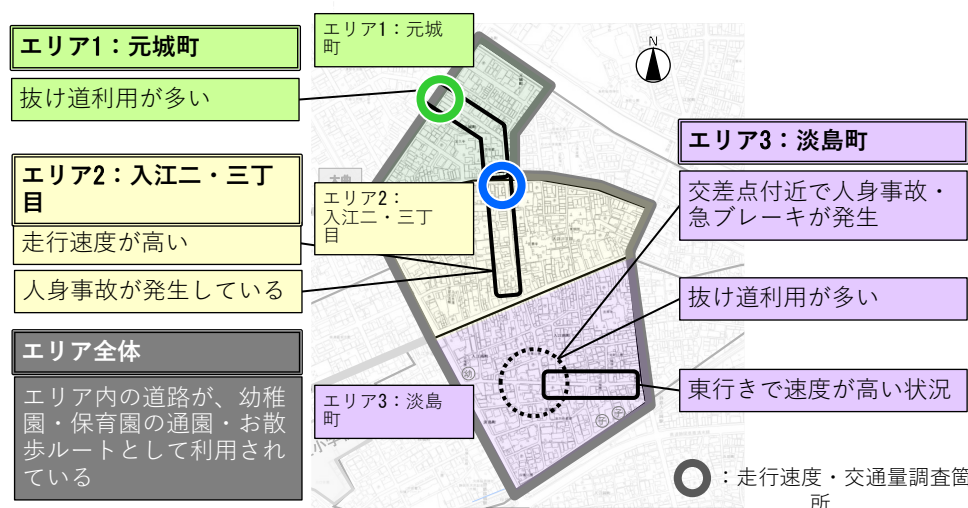
清水区鶴舞町地区においては、平成28年度に「入江地区生活道路安全対策協議会」を設立し、エリア内での安全対策を検討・実施してきました。現在までに交差点ハンプを恒久的に設置し、スムーズ横断歩道を設置するなどして令和3年度に交通安全対策が完了しました。

さらに、エリア対策の拡充として、隣接する入江東地区が新たに加わり、ハンプや狭さく設置などの交通安全対策が令和4年度に完了しました。

1 鶴舞町地区の主な交通課題



2 入江東地区の主な交通課題

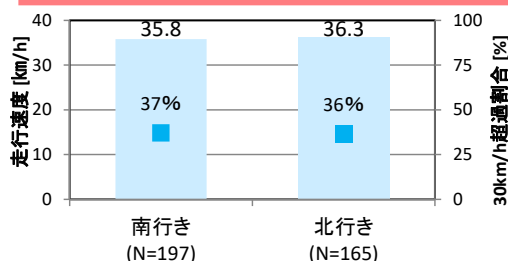


凡例 ：ゾーン30プラスエリア ：生活道路対策エリア

交通動態調査結果

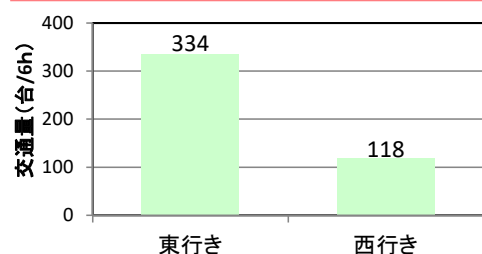
○ 走行速度(H30年9月)

南北方向で30km/h超過の割合が高い



○ 6時間交通量(H29年9月)

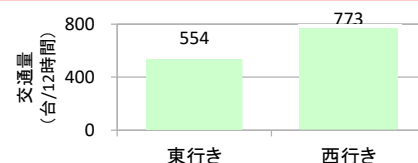
東行きの交通量が多い



交通動態調査結果(H31年4月)

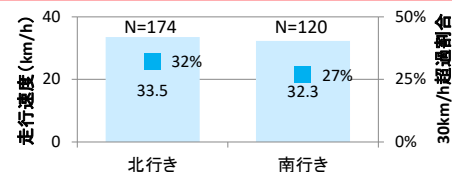
○ エリア1:元城町 12時間交通量

東行き、西行きともに交通量が多い



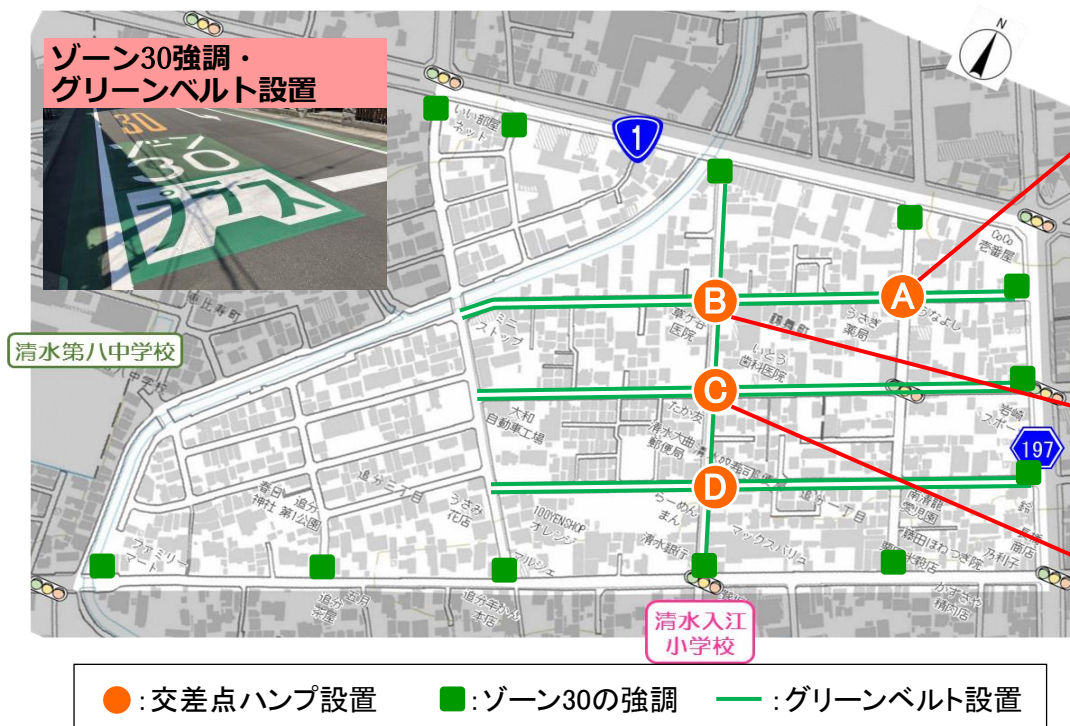
○エリア2:入江二・三丁目 走行速度

30km/h超過の割合が高い



1 対策状況

H29年に交差点ハンプを本格設置し、ゾーン30強調やグリーンベルトといった対策を実施しました。交差点ハンプは段階的に設置を進め、R1年に2箇所を追加設置し、R3年に1箇所の設置をもって鶴舞町地区の対策は完了しました。



A 交差点ハンプの設置



B 交差点ハンプの設置

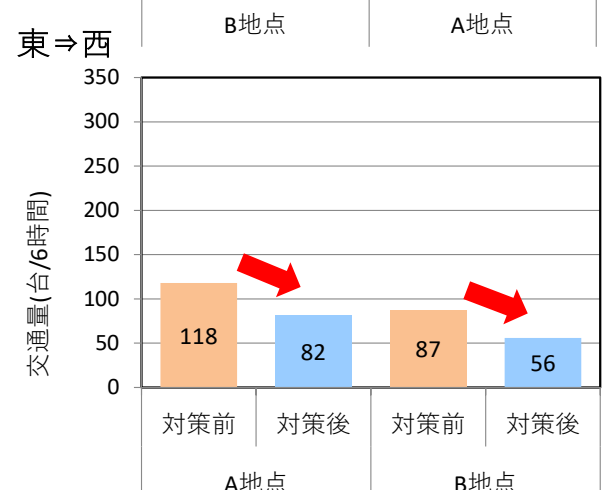
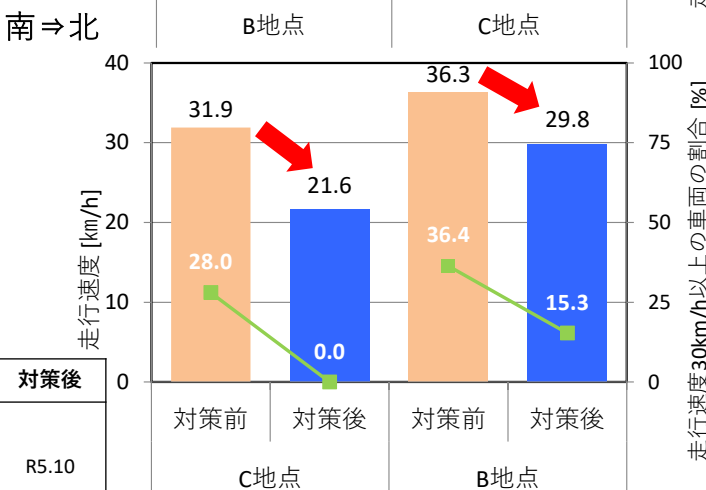
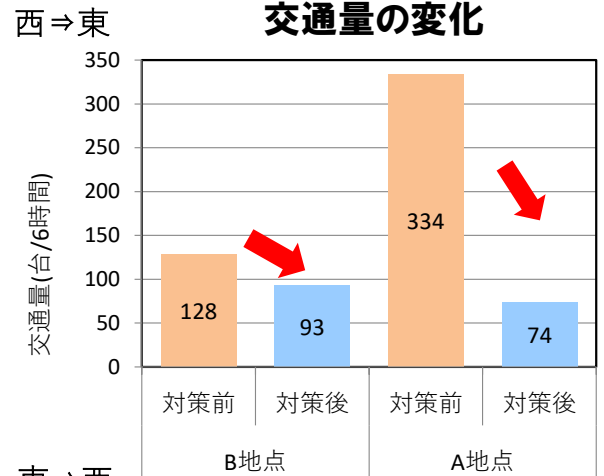
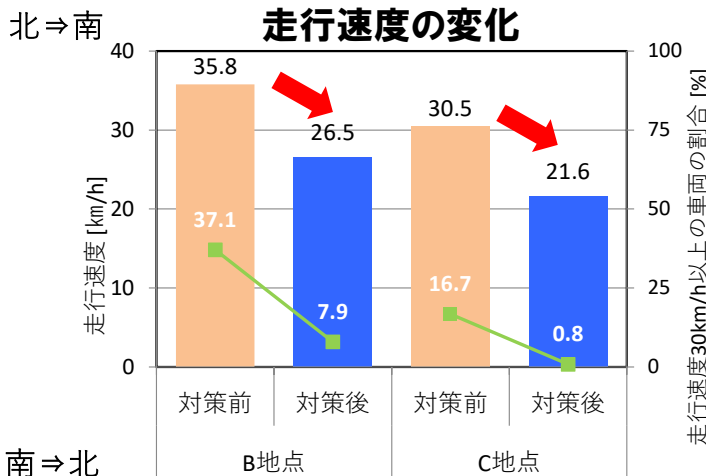


C 交差点ハンプの設置



2 検証の結果

安全対策の効果を把握するため、ビデオ撮影調査を実施し、走行速度・交通量等の変化を確認しました。ほとんどの交差点で走行速度が減少しており、速度30km/hを下回っていることを確認しました。また、鶴舞町地区内を走行する交通量も大きく減少していることを確認しました。



調査日

	対策前	対策後
A	H29.9	R5.10
B	H30.9	
C	H30.10	

3 入江東地区における対策効果

1 対策状況

交差点狭さくの強化(ポストコーン設置)による通過交通の抑制や、単路部狭さく、車線の狭幅員化・グリーンベルトの設置による車両の走行速度の抑制といった対策を実施しました。

A 交差点狭さくの設置



C 交差点狭さくの設置



車線の狭幅員化(センターライン消去)・グリーンベルトの設置



単路部狭さくの設置



B 交差点狭さくの設置



D 交差点狭さくの設置



E 交差点ハンプの設置



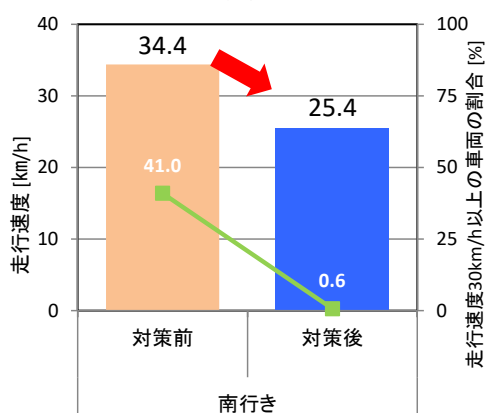
2 検証の結果

ビデオ撮影調査を実施し、走行速度・交通量等の変化を確認しました。

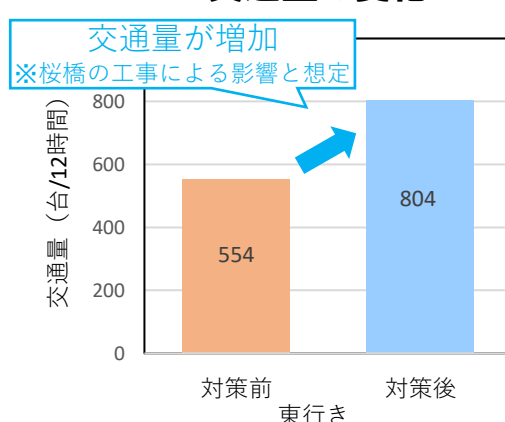
交通量が増加したものの、走行速度は低下していることを確認しました。また、淡島町の交差点ハンプの西側に単路部狭さくを設置したことで、走行速度が他の方向よりも低下したことを確認しました。

エリア1 元城町

走行速度の変化

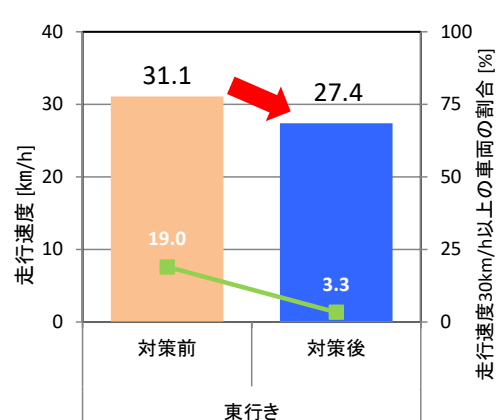


交通量の変化

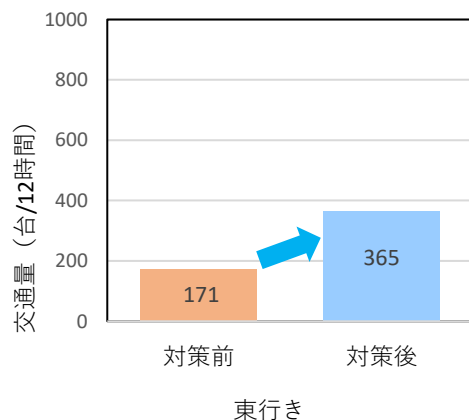


エリア3 淡島町

走行速度の変化



交通量の変化



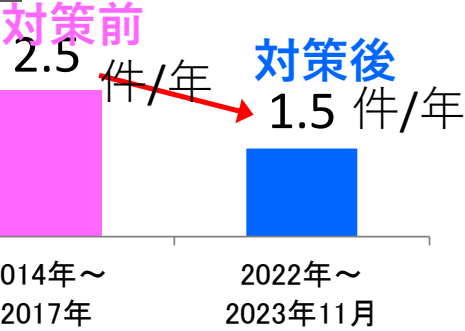
調査日

対策前	対策後
H31.4	R5.10

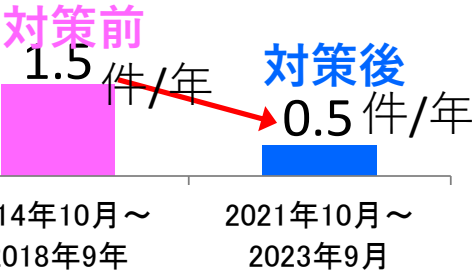
生活道路の交通安全対策による効果：交通事故の発生状況

交通安全対策後、対策箇所周辺の1年あたりの交通事故件数が減少しました。

鶴舞町地区



入江東地区



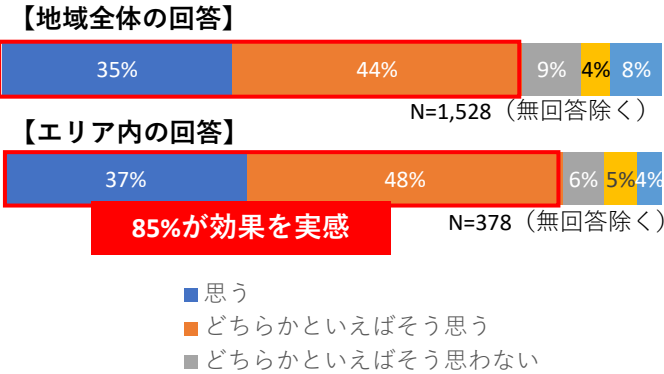
出典：静岡県警察 事故事件発生マップ

地域の皆様の声

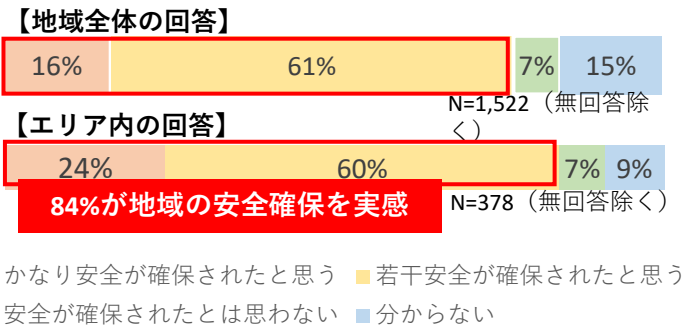
WEB回答340 紙回答1,430 計1,770の回答をいただきました。アンケートにご協力いただきありがとうございました。地域の皆様へのアンケート結果において対策効果実感の声をいただきました。

鶴舞町地区

交差点ハンプにより車がスピードを落として走行していると思いますか

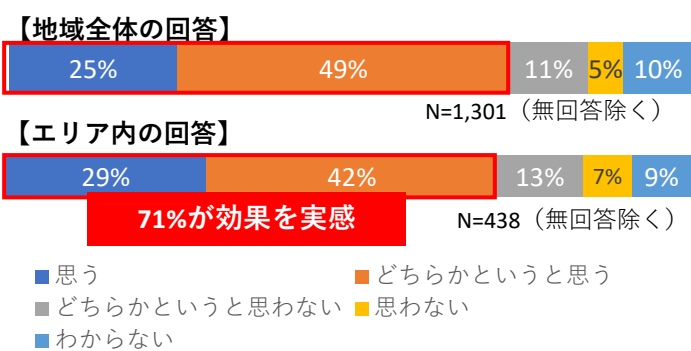


交通安全対策後は、以前と比べて地域の安全が確保されたと思いますか

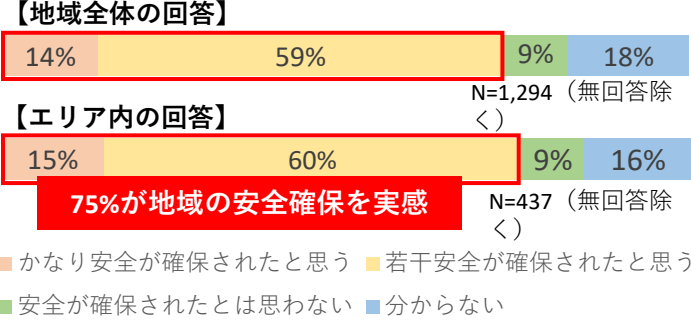


入江東地区

狭さくにより車がスピードを落としている、もしくは車が入りにくいになっていると思いますか



交通安全対策後は、以前と比べて地域の安全が確保されたと思いますか



出典：アンケート調査結果（令和6年1月配布の回答を集計）

今後の展開

鶴舞町地区および入江東地区で実施した生活道路対策によって、走行速度の低下や交通事故の削減効果を確認することができました。しかしながら、入江東地区では、桜橋の架け替え工事による回路の影響で交通量が増加していることから、工事完了後に再度調査を実施し、通過交通等について把握する予定です。

今後は得られた知見を活かして、静岡市内の他地区の生活道路対策を推進し、みなさまにとって身近な道路がより安全で安心な環境となるよう、整備に取り組んでまいります。